



第1922回 例会

2013-14年度RI会長: ロン D・パートン
第2640地区ガバナー: 久保 治雄
創立: 昭和49年5月15日
会長: 竹村 英一
幹事: 後藤 信博
会報: 谷本 司



VOL41 No. 34

2014年 3月19日 (水)

事務所: 田辺市下屋敷町81-10
きのくに信用金庫田辺支店3F
Tel 0739-24-6427 Fax 0739-34-5008
E-mail t-eastro@mb.aikis.or.jp
例会: 毎週水曜日 12:30~

司会者 竹村 英一 会長

唱 歌

“田辺東ロータリー讃歌”
野村 憲二君



出席報告

会員数	義務免除	欠席者数	本日出席率
51名	6名	6名	86.67%
3月5日修正出席率91.11%			
2月平均出席率95.13%			

ビジター 田辺 R C 榎本 長治様

ニコニコ箱

(敬称略)

- ◇お世話になります。 田辺 R C 榎本 長治様
- ◇今年も私の関係する会社が世界中のレースに8回参戦するそうです。6月『ルマン24時間耐久レース』10月12日は『富士6時間耐久レース』で、富士レースには特別招待を受けました。 北村
- ◇杉若さん先日はご迷惑をお掛けしました。どうもすみません。お詫び申し上げます。 坂本
- ◇昨日のソウル市街も暖かかったです。北朝鮮の国境まで足を延ばしてきました。半袖の女性もちろほら見かけました。 木村
- ◇下屋敷の有志で立ち上げていました「わかやま道路パートナー事業」。当例会場前通り、街路樹等の手入れを7年間毎月実施してきましたが、今朝の作業をもって終わりました。7年間で約5000人の方から協力を頂きました。ありがとうございました。 谷峯
- ◇北村のアニキ、昨夜はごちそうさまでした。せがれが無事田辺高校受かりました。 後藤
- ◇40周年記念フォーラム頑張ります。
谷中・小山・平野・中川・岡本・武田
- ◇40周年フォーラム頑張ってください。
片井・前田・丸山(博)・森本・野村・大久保・佐田・竹村・谷本・玉置・上原・山本・吉田・吉本
- ◇本人誕生日 橋本
- ◇お花頂きます。 本田

会長報告

■本日のプログラムは、40周年記念フォーラムです。委員長の谷中順次郎君、委員の小山實君、中川文恵君、岡本博君、平野好史君、武田静也君、後ほど宜しくお願ひ致します。

■3月16日(日)、地区米山記念奨学委員会の会議が開催されました。地区委員の坂本正人君、出席ご苦労様でした。

■3月12日の定例理事会の報告を致します。

- ◎3月9日(日)開催のR財団セミナーに委員長代理出席の渡口君をメイクアップとする件…承認。
- ◎3月15日(土)田辺西バイパス開通式に会長代理出席の玉置君をメイクアップとする件…承認。
- ◎40周年記念事業への協賛金について…会員一律3,000円で承認する。
- ◎ガバナーノミニ郵便投票について…次例会にて採決する。
- ◎カルチャー of キッズからのお願いの件…30,000円の寄付をする。

幹事報告

■例会変更

◎白浜 R C

3月28日(金)→ 3月28日(金)12:30~

場所: 白浜町 臨海番所山

◎海南東 R C

4月 7日(月)→ 4月 7日(月)12:30~

場所: タカショー(株) 海南市南赤坂20-1

<訪問(職場例会)>

4月14日(月)→ 4月14日(月)18:30~

場所: 神田屋 海南市藤白

<花見例会>

◎和歌山南 R C

4月25日(金)→ 4月25日(金)18:30~

場所: ダイワロイネットホテル和歌山4F

<姉妹クラブ: 新濟州 R C 歓迎夜間例会>

■メークアップ

- ◎3月12日(水) 泉州KUMATORIロータリーEクラブ 平野君
- ◎3月15日(土) 田辺西バイパス開通式 玉置君
- ◎3月16日(日) 地区米山記念奨学委員会 坂本君

■回覧

- ◎「ハイライトよねやま168号」
- ◎「米山梅吉記念館 館報 2014年春号」
「春季例祭の ご案内」
- ◎龍神プロバスクラブより
「4月実施予定の創立8周年記念の例会中止について
(ご報告)」
- ◎第2640地区 米山記念奨学委員長 谷野一彦様より
「2013学年度米山記念奨学生終了式ご臨席 御礼状」と写真
- ◎ガバナー事務所
2015-2016年度投票委員会より
「2015-2016年度ガバナーノミニーマン 郵便投票による選挙のご案内」
「シドニー国際大会の信任状」
「国際大会にクラブの代表を送るための手続」
- ◎ガバナーエレクト事務所より
「次年度のためのクラブ会長エレクト懇談会のご案内」
「2014～2015年度のための地区研修・協議会開催について」

委員会報告

- ◎40周年記念事業委員会 武田君
40周年記念フォーラムポスターが出来上がりました
会員さんに持ち帰っていただいて目立つところに張り出して下さい。

本日の40周年記念フォーラムは次週になりました。

ロータリーニュース

キリマンジャロ山麓の村に温暖化に関する教育を



タンザニア、キリマンジャロ山麓にある村、マチャメ(Machame)。ここに住む教師、バーソロミュー・ミー

ナさんの「理科室」には、何冊もの「ナショナルジオグラフィック」誌、火山の模型、太陽熱料理器などが無造作に置かれています。しかし、この部屋を目にしたロータリー元奨学生、エイミー・キャスパーさんは、この光景にすっかり魅了されました。

「子どもたちが学校でやるような理科の実験が、すべてあの部屋に詰まっていた」とキャスパーさん。現在はキャピタルスクエア・ロータリークラブ(米国オハイオ州) 会員となったキャスパーさんは、この部屋の様子から、環境問題に対するミーナさんの情熱を強く感じ取りました。地球温暖化によってキリマンジャロ山の氷河が溶けつつあると聞いたキャスパーさんは、「山の周辺に住む人びとに温暖化による地元環境への影響について知ってもらう必要がある」と考え、ミーナさんと協力することを思い立ちました。

彼女はその後、気候変動の研究で有名なオハイオ州立大学Byrd Polarリサーチセンターにミーナさんを紹介。気候変動に関する教育を使命とする同センターは、タンザニアの人びとへの教育のためにミーナさんと協力することに同意しました。さらにキャスパーさんは、ロータリーのネットワークを駆使して、オハイオとマチャメのロータリー会員からの協力も得ることに成功しました。

Byrdセンターが情報と資料を提供し、それを基にミーナさんがスワヒリ語の教材や資料を作成、そしてロータリー会員がこれを発行、配布、宣伝することになりました。また、啓蒙用ポスターの作成、コミュニティでのセミナーとワークショップの開催、タンザニアとオハイオの研究者の相互派遣も計画しています。

ロータリーという土台がなければこの活動は不可能だった、とキャスパーさんは語ります。「これは、人と人とのつながりから生まれたプロジェクトです。ロータリーを通じて自分も人を助けたり、社会に貢献できることがわかりました」

キャスパーさんとロータリーとの出会いは、1993年、ロータリー国際親善奨学金を通じてオックスフォード大学に留学したときでした。「エイミーは元気いっぱい、情熱的な学生だった」と当時ホストファミリーだったジョーンズさん夫妻は振り返ります。夫婦ともにロータリアンである二人は、留学生だったキャスパーさんをクラブの活動や奉仕プロジェクトに誘い、一緒にボランティア活動をしました。その10年後、タンザニアのロータリー会員をキャスパーさんに紹介したのも、ジョーンズさん夫妻でした。

「ホストファミリーのお父さん(ジョーンズさん)は、今も私を実娘のようにかわいがってくれる」とキャスパーさん。「おかげで、ボランティア奉仕が私の人生の一部となりました」

記事執筆: Arnold Grahl

ロータリーニュース 7-Mar-2014